

## 船舶レーダーからの要求条件

共用を行うためには、船舶レーダーの干渉除去機能が動作することが必要であり、具体的な条件は以下の2点。

- パルス幅  
50  $\mu$ s以下
- 繰り返し周波数 (PRF)  
連続した干渉信号とならないようにPRFをパルス幅以上で時間変動させる。



## 要求条件に対する検討の方向性

- 気象レーダーに「PRFを時間変動させる機能」を具備することの実現性の検討を行う。
- PRFを時間変動させることに代わる、共用条件の検討を行う。

## 検討状況

現在、「PRFを時間変動させることに代わる、共用条件の検討」を先行して行っているところである。具体的な検討内容は以下の2点。

### ① 気象レーダー側の設置場所に制限を課すことによる共用

沿岸との距離離隔や、地形等での遮蔽による伝搬損失を加味した上で、船舶レーダーに干渉影響のないエリアをシミュレーションにより検討を行っている。

⇒ 現状、机上検討では、一部のエリアでしか気象レーダーを運用できない見通しである。

### ② 周波数の棲分けによる共用

船舶レーダー関係者に対して調査を行ったところ、「固体素子型」の船舶レーダーでは、9.4GHz帯を全て使用する想定であることから、現段階では特定の周波数を提示することは困難であるとのこと。

⇒ 今後、船舶レーダー(電子管型・固体素子型)と気象レーダーとの間で、干渉が発生しないための「運用条件」等を実機試験により、慎重に検討することを想定している。